

東武野田線連続立体交差事業（清水公園駅～梅郷駅間）

令和3年3月28日（日）始発列車より高架運行を開始

千葉県、野田市、東武鉄道株の三者では踏切に起因する交通渋滞や事故の解消、市街地の一体化等、安全・安心のまちづくりや地域の活性化を図るため、連続立体交差事業を進めている。令和3年3月28日（日）に、上下線を高架に切り替え、高架運行を開始する。

1. 高架切替日 令和3年3月28日（日）
27日（土）の最終列車後に切替え工事を実施し、始発列車より高架化する。
※愛宕駅の改札口は仮駅舎から新駅舎に移転する。
また、高架化に伴い、愛宕駅及び野田市駅の乗り場は、新駅舎のホームを使用する。
※荒天等の場合は、3月29日（月）に切替え工事、高架運行開始になる。
2. 高架化区間 清水公園駅～梅郷駅間 約2.9km
3. 高架化による効果
 - ・高架区間内の踏切がなくなり、交通渋滞の緩和や踏切事故の解消が期待され、消防・救急活動の迅速化が図られる。
 - ・バリアフリー施設の整備により駅利用者の利便性が向上する。



連続立体交差事業区間図



完成間近の愛宕駅新駅舎



高架橋上（清水公園駅方面）

問合せ＝都市整備課・内線 2506

野 田 市